

子ども未来部 まるっとこどもセンター
課長代理 貝塚 由紀子
＜行政的保健師＞

枚方市男女共生フロア・ウィル
PUBLIC FLOOR FOR GENDER EQUALITY - WILL -
まるっとこどもセンター
MARUTTO CHILD CENTER



H22.4 入職
健康部 国民健康保険課、
健康福祉部 健康寿命推進室
母子保健課

等を経て

R6.4.1 現職
(部署名は当時)

枚方市の受験を 考えている皆さんへ

市役所では様々な業務があり、専門職も様々な部署で活躍しています。また、女性だけでなく男性も育休取得が進む等、働きやすい職場体制がとられています。魅力ある枚方市を築く一員として、一緒に働きませんか。

仕事ひとつひとつが 自分の成長へのチャンス

現在の仕事内容とやりがい

妊娠や出産、就学までの子育てに関する届出関係から相談、教室、健診まで様々な事業を行っています。どの事業も、保健師、管理栄養士、助産師、歯科衛生士等の多職種が関わっており、日々コミュニケーションを図り、協力し合いながら進めています。妊娠から子育て期は、不安を抱えたり、心身が疲れやすい等大変な時期ですが、その後の親子関係の構築や子どもの成長につながる大切な時期でもあり、様々な事業を通してその時期を乗り越え、健やかな子育てと子どもの成長につながるようサポートしています。日々、市民の反応を感じ取りながら、より良いものとなるよう、職員同士だけでなく、様々な専門職ともチームで取り組めることが魅力です。



キャリアについて

新規事業の立ち上げに携わる機会が多かったのですが、上司や先輩に必死でくっついて取り組む中で、事業が形づくられていくことや市民が利用してくれることの喜びや充実感がありました。当時は必死でしたが、振り返れば、与えられた仕事のひとつひとつが自分の成長へのチャンスになっていたことを実感しています。

管理職となった今は、これまでの経験を基に、どんなミッションがあっても、前向きに成長し合える職場づくりに貢献したいです。

ワーク・ライフ・バランス

実践のコツ

第1・2子が小さい頃は、迎えが時間外になったり、両親に預けることが多々あり、仕事中心で生活が回っていました。今は第3子の子育て真っ最中ですが、職場体制等の充実や父の育児参加が増え、仕事だけでなく子どもとじっくり向き合う時間が持てるようになりました。仕事の疲れを子どもに癒してもらい、育児の疲れを仕事で忘れさせてもらうことで気持ちの切り替えができてるように思います。